

平成22年5月12日  
原子力安全対策課  
(22-21)  
<15時記者発表>

## 高浜発電所2号機 発電機水素ガス冷却器冷却水系統の ドレン配管付根からの漏れ（調査状況）

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

### 記

高浜発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格電気出力82.6万kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、5月11日10時30分頃、巡回点検中の運転員が、タービン建屋2階にある発電機内部を冷却する水素ガスを冷やすための発電機水素ガス冷却器4台（A，B，C，D）のうち、B冷却器の冷却水入口配管のドレン配管付根付近から冷却水の漏れ（約0.8ℓ/分）を確認した。

今後、当該冷却器の冷却水系統を隔離し、漏れ箇所の点検および補修を行う。この隔離にあたっては、冷却器で冷やされた後の水素ガス温度が50℃以下になるよう管理していることから、残り3台の冷却器で、水素ガスの温度を管理値内にできるように、発電機の発熱を抑えるために発電機出力を約105%から約98%に降下させる。

[平成22年5月11日 記者発表済み]

発電機の出力行下を5月11日16時から開始し、同日16時22分に出力を約98%とした後、当該冷却器の冷却水系統を隔離し、水抜きを行った。

その後、当該ドレン配管付根付近について外観点検及び浸透探傷試験\*を行ったところ、冷却水配管とドレン配管との溶接部からドレン配管にかけて指示模様（長さ約26mm）が確認された。

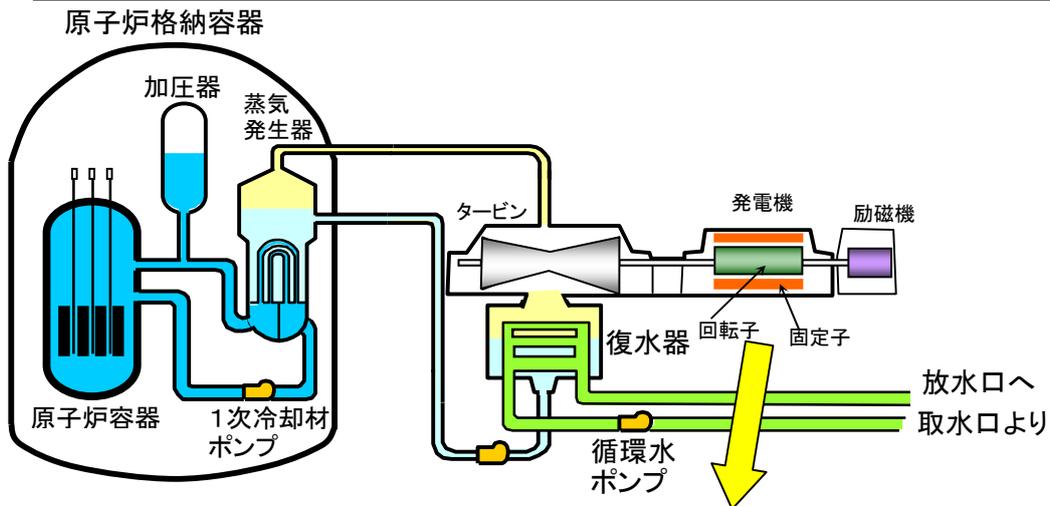
今後、当該配管を切断し、破面観察等の詳細調査を実施する。

\*：浸透探傷試験

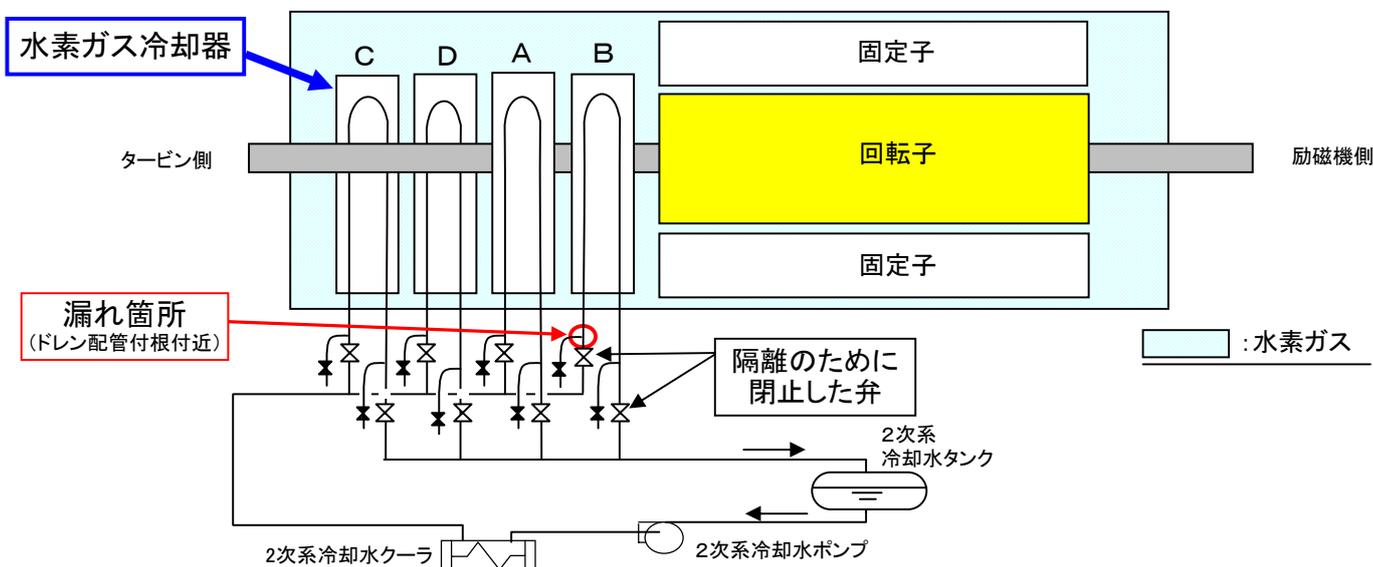
染料の入った液（浸透液）を傷に浸透させた後、余分な浸透液を除去し、現像剤により浸透指示模様として観察する方法

問い合わせ先(担当：有房)  
内線2354・直通0776(20)0314

# 高浜発電所2号機 発電機水素ガス冷却器冷却水系統の ドレン配管付根からの漏れ(調査状況)

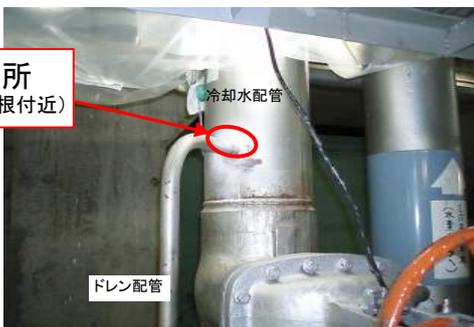


水素ガス冷却器系統概要図



## 点検状況

漏水箇所  
(ドレン配管付根付近)



目視確認の結果



## 浸透探傷試験の結果

